

予 算 要 求 資 料

令和6年度9月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名【新】ツキノワグマ総合対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境生活政策課 生物多様性係 電話番号：058-272-1111(内2922)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,991 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	6,991	5,995	0	0	0	0	0	0	996
決定額	5,000	5,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・国は、令和5年度にクマ類による人身被害が過去最多となったことから、令和6年2月の専門家検討会において「クマ類による被害防止に向けた対策方針」を取りまとめるとともに、令和6年4月にクマ類を指定管理鳥獣に指定した。
- ・これに伴い、指定管理鳥獣対策事業を拡充し、クマ類総合対策として、都道府県等が行う調査モニタリング、出没防止対策等を総合的に支援することとされた。
- ・県では、農林業や人身被害など、ツキノワグマと人間の軋轢を軽減することを目的とした第二種特定鳥獣管理計画(ツキノワグマ)を策定し、生息状況調査や被害防止対策を実施している。
- ・県内においても、令和5年度は人身被害が多発し、「ツキノワグマ出没警戒情報」を初めて発令したほか、今年度もすでに2件の人身被害が発生しており、被害防止に向けた対策の強化が求められている。

(2) 事業内容

ツキノワグマ対策のための調査、出没防止対策、出没時の体制構築、専門人材の育成等を総合的に実施する。今年度は、次の調査を実施。

○ツキノワグマ食性分析調査事業

捕獲個体の体毛や糞便から餌を推定することにより、捕獲地域のツキノワグマの食性を把握する。

○ツキノワグマ情報分析事業

クマの出没、捕獲情報に、植生、人口増減等の情報を地図に重ねてマッピングすることで、対策の方向性や実施地域選定の指標として活用する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ツキノワグマの保護管理を推進するために必要な経費であり、国交付金の活用が可能。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	37	業務旅費
委託料	6,954	食性分析調査事業委託 情報分析事業委託
合計	6,991	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ツキノワグマ第二種特定鳥獣管理計画（R6～R10）

(2) 国・他県の状況

・国は、クマ類による被害防止に向けて、クマ類を指定管理鳥獣に指定し、都道府県等が行う調査モニタリング、出没防止対策等を総合的に支援することとしている。

(3) 後年度の財政負担

・人身被害等を防止するためには、ツキノワグマの保護管理を継続して実施する必要があるため、後年度も継続した負担が想定される。

(4) 事業主体及びその妥当性

・県が、県民の人身被害等を防止する目的で調査を実施し、市町村等の被害防止実施対応のために共有する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 第二種特定鳥獣管理計画に基づき、計画的な被害防止対策を実施することにより、農林業や人身被害など、ツキノワグマと人間の軋轢を軽減する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

施策を推進するための調査業務が主であり、目標の設定に適さない。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

- 3 : 期待以上の成果あり
- 2 : 期待どおりの成果あり
- 1 : 期待どおりの成果が得られていない
- 0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)

- 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
- ・ 調査結果をもとに、市町村とともに被害防止対策を実施する。

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など